

広報ただみ診療所

7月22日以降の朝日診療所の外来診療体制に関するお知らせ

やまなみ ひろあき
朝日診療所 医師 山並 寛明



7月22日以降、常勤医が1名に減ることに伴い、診療体制を一部変更します。

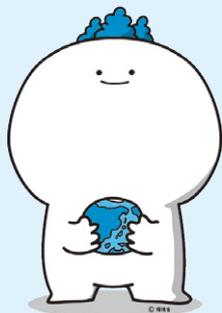
- 当面の間、医師指定での外来予約は受け付けず、受診時間の目安（9時～10時、10時～11時など1時間ごとの枠）での予約を行います。日や時間帯により対応する医師が変わりますのでご了解ください。
- これまでは21時までの急患問い合わせに対応しておりましたが、今後の当日受付を時間内（8時半～11時半、13時半～16時半）に限らせていただきます。なお、翌日以降のご予約は平日の診療時間内に受け付けております（13時半～15時を目安に電話でお願いいたします）。
- 医師が1名の日は一度の受診人数を調整いたします。受付から1時間近くお待たせする場合がございます。ご了承ください。
- 時間を要するご相談（介護の相談など）は事前にご予約して午後に来院ください。
- 救急車などの急患が入った場合、診察を後日にずらしていただくようお願いする可能性があります。
- 勤務医の事情により、休診の時間帯や臨時の休診日を生じる場合がございます。

町民の皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、今後も診療所の外来診療は維持してまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「ネイチャーポジティブ」を知っていますか？

「ネイチャーポジティブ」は、「2020年を基準として、2030年までに自然が損なわれるようなことを食い止め、回復させ、2050年までに完全な回復を達成し、自然と共生する社会を実現する」という意味で、現在の世界的な社会目標となっています。自然と共生する社会の実現というのは、ユネスコエコパークに共通する目標でもあります。

どうしてこのような目標が作られたのでしょうか。私たちは日々のくらしや経済活動は、自然の様々な恵み（食料、エネルギー、きれいな空気と水、鉱物、医薬品、自然災害からの安全、レクリエーションや文化・精神面の豊かさなど）によって支えられています。しかし、人間の活動が自然環境を損ない、現在かつてないスピードで生き物たちが絶滅している現実があります。このままでは、私たちの日々の暮らしも経済活動も大きな損失をうけることは確実とされています。そうならないために「ネイチャーポジティブ」という目標を掲げ、これまでの自然環境保全の取り組みだけでなく、日々のくらしから経済活動までの全てにまたがって自然への配慮を促していくことで、人も自然も豊かに暮らせる世界を実現しようとしているのです。



「だいだらポジー (DAIDARAPOSIE)」

環境省が作成したネイチャーポジティブのイメージキャラクター。日本各地で山や湖、川を作ったとして伝承されている巨人「だいだらぼっち」がモチーフで、地球のポジティブな未来を抱きしめて見守り続けています。